

令和 2 年 11 月 16 日
日本塗料商業組合
本部事務局

職業能力開発関係厚生労働大臣表彰受賞のご報告

日本塗料商業組合はこのたび、令和 2 年度「職業能力開発関係厚生労働大臣表彰」を受賞いたしました。

「職業能力開発関係厚生労働大臣表彰」とは、認定職業訓練や技能検定の実施、技能振興の推進に関して、長年にわたって多大な貢献があり、他の模範になる事業所・団体や、顕著な功績があった功労者を表彰する制度です。この表彰を通じて、技能労働者の技能水準の向上や処遇・地位向上に役立てるとともに、将来を担う優秀な技能者の確保・育成を進め、次の世代に優れた技能を承継していくことを目的としています。

当組合では塗料調色技能士検定制度の制定から関わり、各地で開催される検定試験への技能検定員派遣、中央職業能力開発協会が実施する中央技能検定委員会への委員派遣、調色作業試験に使用する支給材料の申込みの取り纏め・発送などの協力をしてまいりました。

塗料調色技能士検定制度が制定された経緯は以下のとおりです。

- ・昭和 52(1977)年 5 月の第 9 回総代会において、従業員の塗料調色技能と消費者サービスの向上について問題が提起された。
- ・翌昭和 53(1978)年 7 月の第 38 回理事会で年度事業として塗料調色技能士制度の研究を行うこととし、「調色技能者制度研究委員会」を創設した。
- ・続いて昭和 54(1979)年 3 月に「塗料調色（店頭調色作業）技能検定専門調査委員会」を立ち上げ、検定試験の基準、試験問題の作成など審議を重ねた。
- ・昭和 56(1981)年 2 月、第 1 回塗料調色技能士検定試験実施
- ・令和 2(2020)年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止を余儀なくされたが、41 年にわたり実施され、現在まで検定合格者は 3,600 名を超える。

今回の受賞は、多くの先達の皆様、特に歴代の技能委員長、技能委員の皆様のご尽力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

参考資料 1 職業能力開発関係厚生労働大臣表彰の概要

参考資料 2 令和 2 年度厚生労働大臣表彰者名簿（職業能力開発関係）抜粋

以上